



オルゴールが奏でる校歌に耳を澄ませる  
来場者  
(大月町の創作・交流拠点「COSEA」)

## 大月の廃校小に現代アート



巨大な鉛筆が立ち並ぶ自遊学校(大月町竜ヶ迫)

### 校歌オルゴール・鉛筆モチーフ

「のある作品にしたい」と話している。

【宿毛】オルゴール作家、嶋布滋子さん(76)が品や巨大な鉛筆オブジェ「懐かしい」などが並ぶ現代美術展示「廃校オルゴールとマララの鉛筆」が、幡多郡大月町の創作・交流拠点「COSEA(小才角)と、野口ちとせさん」自遊学校(竜ヶ迫)で開かれた。入場無料。旧小才角小学校を改修したCOSEAには、現代アートを手掛ける谷本研さん(48)が、滋賀県の大月町旧小学校校歌十四窓を展示している。廃校となった町内14小学校の校歌を、手巻き式オルゴールで聞ける。COSEAは10月7日、置いてあり、谷本さんは「かつての思い出を書き、前10時〜午後4時まででもらう」で、興行き無休。(坂本 出)